



末吉 利啓



動画配信中

中橋架け替えに向け、諸課題を

真摯に受け止め適切な対応を！

問 国・県・市の連携により、長年にわたる本市防災の重要課題である中橋架け替えが動き出したが、実現に向けてどのような課題があると捉えているのか。

市長 渡良瀬川左岸側が連続の高架構造になることや、踏切廃止への対応、バリアフリー対策や工事期間中の交通対策などの課題が挙げられる。一刻も早い事業化のためには、関係機関と具体的な協議を進めるほか、一つ一つの課題への対策を地域の皆さまに丁寧に説明し、不安や心配を払拭していかなければならないと考えている。

◆遊休資産の利活用

問 遊休資産の活用に向けて、市内の未利用地を巡るバスツアーやトライアルサウディングなど、民間事業者が現地を確認できる機会をつくるのが有効と考えるがどうか。

総合政策部長 ノウハウを持つ民間事業者に実際に現地を確認いただくほか、試行的に利用いただくことで新たな活用方法のアイデアが出てくる可能性もあるため、今後そうした機会の創出について検討していきたい。



大谷 弥生



動画配信中

子どもたちの未来と健康のために！

問 令和3年度から中学校でがん教育が全面的に実施される。教育委員会と連携し、がん教育の取り組みをがん検診の受診率向上につなげられないか。

健康福祉部長 がん教育は、がん検診の受診率向上につながる有効な手段と考えており、教育委員会と協力して市内小中学校で思春期講座を実施し、児童生徒を通じて保護者にチラシを配布するなど、受診勧奨に努めている。引き続き学校と連携してがん検診の必要性を伝える機会をつくり、受診率向上につなげていきたい。

◆食育の推進と地産地消

問 栃木県農業試験場が開発したもち麦である、もち絹香を学校給食で提供する自治体が増えてきたが、本市の学校給食でも提供できないか。

市長 足利市農業協同組合の協力をいただき、学校給食の主食となるご飯は、本市で作付されたもちぎの星を提供している。もち絹香の提供については、学校給食における大麦を使用した新たなレシピの可能性や食育に十分配慮しながら取り組んでいきたい。



金子 裕実



動画配信中

中橋架け替えとまちづくりの両立を問う！

問 堤防のかさ上げと中橋の架け替えは喫緊の課題である。協議不足に不安を感じる市民も多いが、架け替えと今後のまちの在り方を分けて考えられないか。

都市建設部長 中橋の架け替えは橋梁部分の工事と左右岸のアプローチ部分の工事に区分される。三連アーチの中橋の移設に要する期間を有効に活用し、左岸側が高架構造に至った理由を丁寧に説明するとともに、関連するまちづくりについて地域の皆さまと膝を交えた話し合いができるよう、国や県に強く要望していく。

◆住宅地での牧場運営

問 本市の住宅地での牧場運営に対し、悪臭等により悪化した住環境の改善を求める署名活動が開始されたが、市はこの活動をどのように受け止めているのか。

生活環境部長 本市では、当該牧場に関する苦情が寄せられる都度、市単独または栃木県動物愛護指導センターと合同で訪問し、糞尿の処理等について適切な対応を求めてきた。引き続き経営者への指導を同センターに依頼し、住民の方々に寄り添いながら生活環境の改善が図られるよう努めていく。